

里ちゃんだより

里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212



「地域の皆様、いつもありがとうございます」

日頃から本町の教育振興のために、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。本年度も、多くの地域の皆様方に、ご支援・ご協力をいただき、子どもたちの元気な声と笑顔が見られるよう、学校と家庭・地域の連携を強めていながら、健全育成を図ってまいりました。学期中は、「子ども安全パトロール員」による、防犯活動を実施していただいております。暑い日も寒い日も各地域で、子どもたちの登下校に合わせた見守りや声かけ、あいさつなど様々な形で子どもたちの安全の確保に向けて、ご支援・ご協力をいただいております。本年度から実施している「さとしょう未来塾」においても、地域や町内企業の方々にボランティアとして参加していただき、子どもたちの自学自習やものづくりの講師などで支援していただいております。さまざまな体験活動を通して、地域の方々との連携を深めることができたと考えております。

地域の皆様には、気軽に学校（園）を訪れていただき、普段の子どもたちの様子を見学していただき、学校（園）への理解を深めていただくため、昨年11月5日（土）「一日学校公開」を実施いたしました。大勢の方にご来場いただき、アンケートにも回答をいただきました。貴重なご意見を参考にしながら、家庭や地域が一体となり、より良い学校づくり・開かれた学校づくりに努めてまいりたいと考えております。今後も地域の皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。（文責：事務局長 小寺 大輔）

第49回里庄町立志式 ～志を胸に～

里庄町では、満14歳を迎える中学2年生を対象に、これまで自ら歩んで来た道を振り返り、将来に向けて高く志をもつ機会となるよう、毎年立志式を実施しています。今年は2月3日（金）に実施し、92名の生徒が立志を迎えました。

式典では、2年生全員が「私たちは、一生懸命努力し、自分に責任をもった人になります。何事にも挑戦し、感謝の気持ちを忘れず、志をたて、夢に向かって精進していくことを誓います。」と声を合わせ、力強く誓いました。

式典終了後に行われた記念講演では、SAMURAI JAPAN 女子野球日本代表監督 大倉孝一氏が、自らの学生時代の経験や、生徒たちに将来に向けての激励などを熱く述べました。

これからの皆さんの成長とご活躍を心より期待しています。

（文責：瀨本 麻衣）



立志式の様子

「さとしょう未来塾」について

里庄町の子どもたちの健やかな成長を里庄町の大人が応援するのが、今年度始まった「さとしょう未来塾」です。未来塾では次の2つの事業を実施しました。

○「里ちゃん寺子屋」

毎月1回、土曜日に中央公民館で自学自習をしています。今年度は、小学4年生から6年生の27名が頑張りました。落ち着いて学習する習慣がついてきました。

○「里ちゃんチャレンジ・ワールド」 体験活動

土曜日や休業日を中心に、今までの「里ちゃんチャレンジクラブ」事業を引き継ぎ、新たに「里ちゃんチャレンジ・ワールド」を展開しました。冒険キャンプや暁天座禅などに加え、時計づくり、科学教室、陶芸教室、などを実施しました。

(文責：教育コーディネーター 武政 寛治)



里ちゃん寺子屋



時計づくり



陶芸教室

スポーツを通して生きがいのあるまちづくり

里庄町では、町民の方が健康で生きがいのある生活を送れるよう、スポーツや体力づくりの機会を提供しています。また、体力づくり・健康づくりを通して、人と人との交流や地域同士の交流を図ることが、非常に大切だと考えています。

毎年恒例の厚生体育大会は、子どもから高齢者、町内企業の方など多くの方が一同に集まり、様々な種目で競い合い、交流し合う機会となっています。本年度は降雨により大会途中での中止となりましたが、多くの方が地域内・外での連携や交流を図れたものと思います。

また、2月には体力づくりを目的としたマラソン大会を開催し、昨年を上回る多くの方々のご参加をいただきました。日頃の運動不足解消や上位入賞を目指してランナーが町内を疾走し、沿道では地域の方々の温かい声援を受けて、寒風吹く里庄路を駆け抜けました。

これからも、町民の方が身近な地域でスポーツを楽しむ機会を提供し、いつまでも健康で暮らせるまちづくりを進めていきます。(文責：上田 大基)



厚生体育大会



マラソン大会

～スマートフォン・ゲームの適切な利用について～

里庄町教育委員会では、町、学校、PTAと連携して、子どもがネット上のいじめや犯罪に巻き込まれないようにするために、町全体でスマートフォンやゲームの使用についてのルールづくりを推進しています。

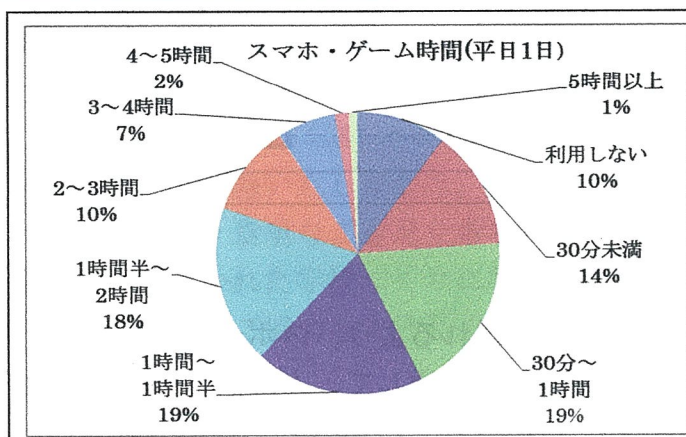
里庄町の統一ルールとしては、「使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」としています。特に年度が変わる時に、スマートフォンやゲームを所持することも多いと聞いています。子どもたちが、安全で、安心して毎日の暮らしができますように、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。(教育長 杉本 秀樹)

里庄町の子どもの様子 (スマートフォン・ゲームの実態調査より)

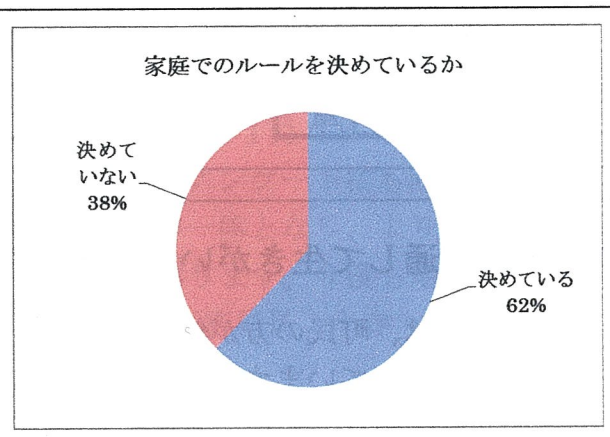
里庄町教育委員会では、平成28年度に2回、町内小学校4年生から中学校3年生までの全児童、生徒にスマートフォン・ゲームの使い方について実態調査を行いました。平成29年2月の結果の中から、2つを紹介します。ご家庭でも安全な使い方についてよろしくお願いいたします。

(文責：柚木 康男)

小学校 (4年生～6年生)

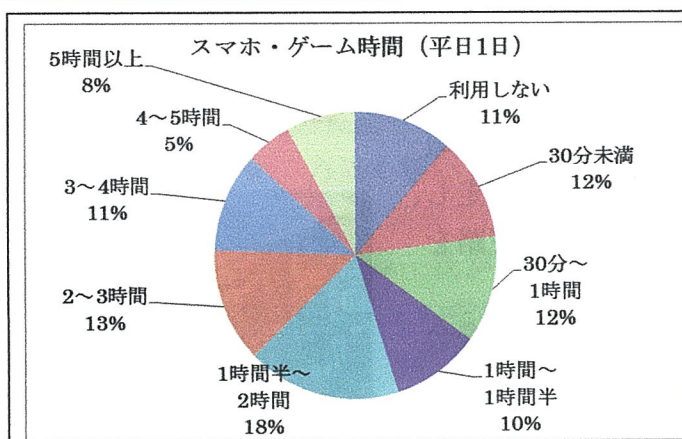


1日2時間以上利用している子どもが約2割

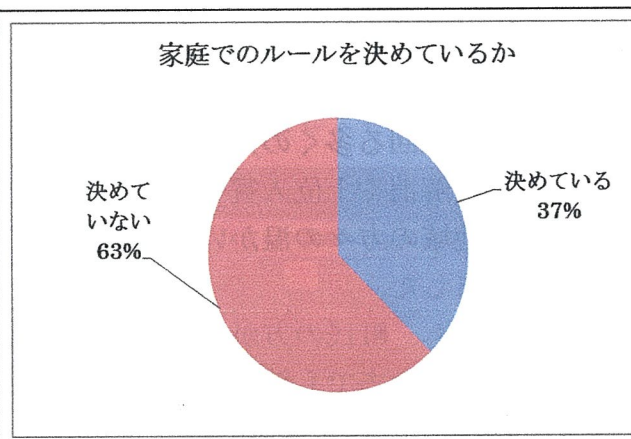


ルールを決めているが約6割

中学校 (1年生～3年生)



1日2時間以上利用している子どもが約4割

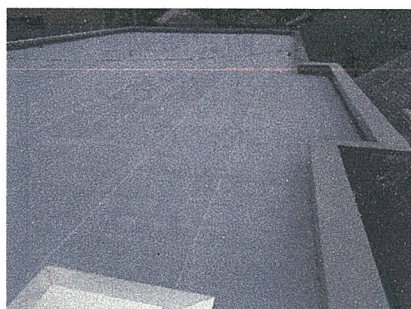


ルールを決めているが約4割弱

教育施設の充実を目指して

教育施設は、子どもたちの学習・生活の場である学校や社会教育（教養）施設などがあり、地域コミュニティや防災の拠点として重要な役割を担う、地域住民にとっては身近な公共の施設です。施設を長く使っていくための長寿命化にあたっては、建物の老朽化を把握し、予防保全的な維持管理が大変重要となってきます。

教育施設は、日常のみならず有事の際においても、十分な安全性・機能性を有しておくことが求められます。建設当初には確保されているこれらの性能なども、経年劣化等により必要な性能を満たされなくなってきている恐れも出てきます。教育委員会では、当該施設が常に健全な状態を維持できるように、また、建物本体だけではなく、内部においても、現代社会のニーズに対応した各施設におけるそれぞれの場に応じた環境の改善も合わせて、計画的かつ合理的に整備を進めています。（文責：淡路 尚久）



西小：C棟屋上屋根防水工事



里庄中：LED照明へ改修



西幼：緊急避難経路整備

家庭教育力の向上をめざして

教育委員会では、小学校入学前の就学時健診の際に、「親育ち応援学習講座」を実施しています。この講座では、岡山県が作成した参加体験型の「親育ち応援学習プログラム」を活用し、保護者同士がつながりを持ち、語り合いながら学び合うきっかけづくりをしています。参加された方の「みんなも同じようなことを悩んでいるんだ」、「他の人の声が聴けて安心した」という声からも、子育ての悩みを共有し、どのように子どもと向き合っていくかを話し合い、意見を出し合うことで、保護者としての役割やあり方を考える一つのきっかけとなっています。

また、中学校入学を控えた保護者を対象に、里庄中学校の入学説明会の際に「思春期子育て講座」も開催しています。本年度は、川上陽子さんを講師にお招きし、「アンガーマネジメント」を活用して、思春期の子育てをイライラせずに行うための講座を開催しました。

家庭教育はすべての教育の出発点です。子どもたちの未来のために、家庭での子育てに不安を抱くことなく、安心して子どもを育てていけるまちづくりを進めていきたいと考えています。

（文責：山本 直樹）



親育ち応援学習講座



思春期子育て講座